

# オリオンシステム株式会社

「経験を活かして活躍できる会社」

[専門的・技術的職業]

システム開発・営業・サポート

代表者名：代表取締役社長 山中義夫  
従業員数：83人  
創 業：昭和57年（平成28年社名変更）  
住 所：須坂市大字幸高279番地10  
T E L：026-246-2998  
事業内容：総合ソフトウェア開発、S Iサポート  
業務、IT関連機器・各種パッケージ  
ソフトウェアの販売及び保守  
給 与：18万～23万  
<http://www.orionsystem.co.jp/index.html>

須坂市には、精密空調機や冷却機などの産業機器や酪農機器を開発から製造・販売まで行っている須坂市最大企業のオリオン機械株式会社があります。オリオングループは全部で29社あり、このうちソフトウェア開発やIT機器販売・S Iサポート業務を展開しているのがオリオンシステム株式会社です。1982年（昭和57年）に株式会社システムクリエイトとして設立し今年で38周年を迎えます。2016年にオリオンシステム株式会社へ社名変更し、現在は大手メーカーをはじめとする企業のビジネスパートナーとして、オリオングループをITで支えている企業です。

2019年社長に就任した山中義夫さんをはじめ総務部長の霜田さん、専務取締役の多賀さんに、オリオンシステムでの働き方について話を聞きました。

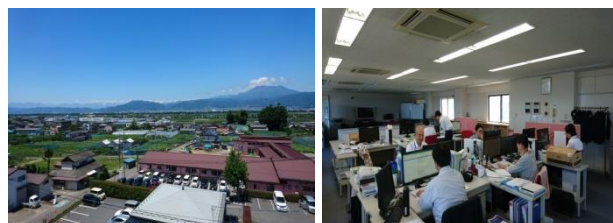


## ●設立から38年目を迎えます

オリオンシステム本社は須坂市の玄関口である須坂長野東インターチェンジ近くに立地しています。オリオングループをITで支え、システム開発からIT機器の提供、サポート、運用保守、インフラ構築までトータルで提供をしています。

今年（2019年）4月から社長を務めるのは、親

会社のオリオン機械でこの3月まで総務部長を務めていた山中義夫氏（62歳）です。オリオン機械在任中は、経理、経営企画、広報、社長秘書室を経験し、総務部長として、総務、人事、情報システムを統括するなど、管理部門の幅広い経験を経て社長に就任されました。2019年度の会社のスローガン「感動を呼ぶ仕事をしよう」は、社屋から望める感動的な美しい山々を背景に働くことができるオリオンシステムならではのスローガンかもしれません。



## ●オリオンシステムの働き方や社内の様子

現在オリオンシステムの社員数は男性76人、女性7人の合計83人。女性の働き方にも理解があり、今後は増やしていきたいと山中社長は話します。

「年齢で言うと30代後半から40代が多いですね。逆に25～35歳の社員が少ないです。最年長では60歳の方がいます。再雇用で65歳まで働けます。北信地域の企業に対するIT機器販売やシステム開発請負のほか、親会社であるオリオン機械の基幹システムの開発を親会社とともに担当しており約10人が配置されています。他には30年来のお付き合いがある大手パートナー企業に30人が常駐しています。仕事の内容はフロントSE業務（システム提案、設計、構築等）、S Iサポート業務（保守、リモート障害対応等）です。S Iサポートの一環として24時間365日のサポートも対応しています」「社員の居住地は、須坂市内のほか、20～30分で移動できる隣の長野市が多いですが、1時間ほどかかる飯山市からも通勤している社員もいます。若手社員はスキルを身に着けるため、東京・名古屋で勤務することもあります」



「今年は5人の新卒を採用しました。中途採用では昨年1人が入社しました。中途採用では現場での開発やSE業務の経験ある方であれば即戦力として活躍してもらえないのではないかと思います。オリオングループは社員を大切にする会社です。年間を通じて人材教育に力を入れており、節目には、グループ全体での経営理念研修も実施します」



「社内行事では、バーベキューやビアガーデンの親睦会や国内外への社員旅行、また須坂の夏を飾るカッタカタまつりの踊り連参加などがあります。研修行事とあわせて行いながら社内のコミュニケーションづくりを図っています」



### ●Uターン移住で働く社員

総務部長の霜田律子さんは須坂市出身。東京で生活を送っていましたが、地元に戻った方が自分らしい人生を送れるかもしれないと考え、約10年の都会暮らしを終えUターンしました。

「東京では片道1時間半の通勤時間が当たり前でした。電車が次から次へと来るので時間を気にすることが薄れていました。都会は華やかですが殺伐とした感じでしたね」

専務取締役の多賀琢さんは隣接する長野市出身。昨年(2018年)7月に奥様と埼玉県からUターンしました。経験を活かしてオリオンシステムに転職し、ちょうど一年を迎えるところです。

「両親の世話も考え実家のある長野へ37年ぶりにUターンしました。とにかく長野は野菜など食べ物が美味しいです。ちょっと太ったかも。野菜は農産物直売所や行きつけのスーパーで購入します。長野に戻ってからは使える時間が増えま

した。自分で料理をする時間ができましたし、本を読む時間も増えました。」

「オリオンシステムは経営陣がきちんと社員に向き合う会社です。組織単位ではなく個人単位で社員の気持ちに寄り添う事を大事にします。都会の働き方のように能力を競うことより、チームで協調性を持ち「この仕事が好き」と言える社風に共感できる方が向いているのではないのでしょうか。地道にキャリアを積めるような前向きな方に合う会社だと思います」

### ●希望する人材

山中社長は希望する人材について「システムを作る仕事は経験値が大事なので年齢の固定をしていません。少し前の時代のシステム言語が担当できる人は貴重ですね。年齢は関係なく、経験とノウハウを活かして即戦力となってくれる人を求めます」

まずは社員一人ひとりが幸福感を持って働けることが大事だと言います。オリオンシステムはグループが掲げる「すべてはお客様のために」のスローガンのもと、お客様が満足できる製品づくりを目指しています。

見晴らしの良い応接室から見下ろすと赤い屋根の井上保育園と元気に遊ぶ園児たちの姿が。ビジネスパートナー企業がこのオリオンシステムを「リゾートオフィス」と言ったほど。見渡せば



景色を遮るものもなく、広い空と美しい山々が心を和ませてくれます。このリゾートオフィス「オリオンシステム」で経験豊富なあなたが即戦力となる姿を実現してみませんか。

(2019年6月インタビュー)

